

報告事項工

平成23年度民俗芸能フォーラムの開催結果について

平成23年12月18日に開催された、平成23年度民俗芸能フォーラム「民俗芸能の披露と保存伝承」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年1月13日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

平成23年度民俗芸能フォーラムの開催結果

文化財課

1 開催趣旨

無形民俗文化財は、地域の文化や歴史を生き生きと語ってくれるものとして、文化財としてのみならず、地域振興・観光の核としても注目されているが、その保存伝承にあたっては課題も多い。本フォーラムは、民俗芸能を保存伝承していくためのよりよい方策を、各保存団体が事例報告や意見交換を行う中で共に模索し、問題解決の手がかりを探ることを目的として、平成21年度から開催している。

民俗芸能の保存伝承において、舞台公演などの芸能披露の場が大きな役割を果たしていると言われ、自らこうした披露の取り組みをしている保護団体もある。今回はこうした活動事例を紹介し、民俗芸能の保存伝承につなげていく上での工夫や課題について検討した。

2 日時 平成23年12月18日(日) 午後1時30分～4時

3 会場 米子市福祉保健総合センターふれあいの里 中会議室

4 内容

第1部 事例報告

各団体の構成、結成時期と目的、具体的な活動内容、事業の効果と将来への期待について、ご報告いただいた。

- ・とっとり手踊り・手笠踊りの集い実行委員会 会長 竹内祇明さん
…手踊り・手笠踊りをしている地区に呼びかけ、平成22年、23年に安蔵森林公園で、芸能を披露する集いを2回実施。
- ・鳥取県和太鼓連盟 会長 本田幸男さん
…平成5年に県民文化会館「梨花ホール」の柿落とし事業をきっかけに結成し、年1回のコンサートを実施。
- ・日南町文化伝承の会 会長 大柄 重人さん
…平成19年に日南町の民俗芸能団体13団体で結成。平成20年、23年に町内に伝わる芸能や唄を、季節の映像を交えて紹介する「日南の四季」を開催。

第2部 パネルディスカッション「民俗芸能の披露と保存伝承」

(1) パネリスト 3名の事例報告者

(2) 討議内容

- ・ 活動にあたって人手や資金の面での苦労がある。
- ・ 演じ手に伝承意欲が、観客には理解と愛着が生まれる。芸能が上達する。参加者同士の横の連携が生まれる。
- ・ 現在の活動を続けていくことそのものが今後につながるのではないか。



5 参加者 26名

<内訳> 民俗芸能保護団体20名(12団体)、市町村教育委員会ほか6名

参加者のアンケートより

フォーラムの感想

- ・ 各団体が保存のために一生懸命努力されていることがよく分かり、勉強になった。
- ・ 取り組み方が誠実で、情熱や人をまとめる能力があり、素晴らしい。また人任せではなく手弁当なのが、なお頼もしい。

今後フォーラムで取り上げて欲しいこと

- ・ 個々の芸能のあり方や取り組みについて。
- ・ グループでの話し合い、交流の場が欲しい。
- ・ 小学生の子どもたちが民俗芸能に一生懸命に取り組むにはどうしたらよいか。

今後の保存伝承に向けて

- ・ 出演依頼があれば意識が高まる。どんどん出演、発表したい。
- ・ 行政の支援・協力は大きな力になる。
- ・ 資金面で苦労しているので、毎年決まった収入があればと思う。
- ・ 現在伝統芸能を続けている人たちが根気よく続けていけば、一緒にやろうと思う人たちがあられると考える。

参考 これまでの実施内容

| 年度 | テーマ | 日程 | 会場 |
|--------|------------------------------------|-----------------|--------------------|
| 平成21年度 | 助成制度を活用した保存伝承活動 | 平成21年 9月19日 | 倉吉未来中心 セミナールーム3 |
| 平成22年度 | 民俗芸能の後継者育成について～ 学校・公民館との連携の可能性～ | 平成22年 12月18日 | 鳥取市中ノ郷地区 公民館 |